

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	不法投棄監視市民パトロール支援事業		担当部署	市民環境部クリーンセンター廃棄物対策課	
総合計画体系			根拠法令計画など	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適 住み良い まちづくり	事業期間	開始	平成 17 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		ごみ処理			
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進			
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	廃棄物不適正処理の早期発見及び未然防止のため、地域住民によるパトロール活動の推進と未結成地区におけるパトロール隊結成を促進する。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	自治振興会環境部の協力を仰ぎ、パトロール隊未結成地区に結成を働きかける。各地区パトロール隊による継続的な監視活動や不法投棄防止活動に必要な防護ネットや警告看板を支給し、活動を支援する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		パトロール隊認定団体数	11	12	12	12	12	団体

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	11地区に不法投棄監視パトロール隊が結成されており、各地区において地域住民により継続的な監視パトロールや不法投棄の未然防止活動が実施されている。 また、鳴門市不法投棄監視パトロール連絡協議会により各関係機関のネットワークが確立され、市民と行政の協働による県道徳島北灘線の不法投棄物の撤去作業を実施するなど、不法投棄撲滅に向けて活発な市民運動が展開された。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1 不法投棄連絡協議会の開催数	4	4	5	5	5	回
	2 地域住民・自治振興会等への説明回数	4	4	5	5	5	回
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	パトロール隊認定団体数	11	11	—	—	—	団体
	目標達成率(実績/目標)	91.7		—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成26年度	当初予算額	0	0	0	0	252	252
		全体予算額					252	252
		決算額					225	225
		繰越額					0	0
		人件費	正規職員(6,517千円/人)	臨時職員(2,012千円/人)		総人件費		総事業費
0.1	0.6		1,859		2,084			

【事務事業名:不法投棄監視市民パトロール支援事業】

【鳴門市行政評価】

(千円)

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	280	225	250	250	250
	うち一般財源	280	225	250	250	250
	人件費	1,859	1,859	1,859	1,859	1,859
	総事業費	2,139	2,084	2,109	2,109	2,109

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	活動により、地域住民の意識が向上し、不法投棄を許さないという気運が高まった。
	効率性	B:概ね効率的だった	地域住民と行政機関の連携により、不法投棄の未然防止や迅速な撤去を行うことができた。
②成果に対する評価	指標名	パトロール隊認定団体数	
	目標	12	団体
	実績	11	団体
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価		B	パトロール隊の新規結成はなかったが、既存のパトロール隊による活動は拡大してきており、不法投棄防止に対する意識は高まってきている。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	パトロール隊未結成地区における組織化が必要である。また既結成地区においては、積極的に監視および回収活動を行っているにもかかわらず、未だ不法投棄が行われている現状がある。今後もパトロール隊の新規結成に向けた働きかけを行うとともに、既存のパトロール隊の活動の支援や、防護ネットの敷設など不法投棄の未然防止に向けた取組みを強化する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	パトロール隊未結成地区において、自治振興会の協力を得て新規結成に向けた働きかけを行う。 既存のパトロール隊に対しては、関係機関との連絡調整や資材の提供などを積極的に行うことにより活動を支援していく。			
	H28年度	同上			